



教育目標

未来を拓き、たくましく生きる幼児を目指し、幼児一人一人の特性を生かし、自主性、社会性を身に付け、感性豊かで心身ともに健康な幼児の育成を目指す。

○なかよく遊ぶ子（みんななかよし）

○すすんで取り組み、やりぬく子（なんでもがんばる）

○感じる心をもち、豊かに表現する子（にこにこげんき）

本園では、入園してから修了するまでの幼稚園生活を、長期的な視野に立ち、充実した生活ができるように、育てたいことを明確にして教育課程を編成しています。

尾久第二幼稚園では…

✽幼児期に育てたい力「非認知能力」をじっくりと時間をかけて育てます✽



「非認知能力」

想像力・創意工夫する力・探求心や表現力
協調性・思いやり・意欲・積極性
乗り越える力・粘り強さ



目に見えないけれど、生きていく上で大切な力を「非認知能力」といいます。このような力が基盤となって小学校以降の学習を通して育つ力「認知能力（読み書き・計算・知識など）」が積み重なって育っていきます。幼児期にとって遊びは学びです。



○幼児の遊びを大切にしています。

遊びは自らが楽しんで行う自発的な行動です。主体的に関わることで発達に必要な経験を深めていきます。幼児期は実際に五感を使って体験し、感じることでできる環境との出会いが大切です。尾久第二幼稚園では、子供たちが遊びに没頭できるような環境作りを行い、子供が自らの力で考え、答えを導き出せるように言葉掛けをしています。



じっくり楽しむ



自然と遊ぶ



工夫する



○行事を計画的に実施しています。

幼稚園には、様々な楽しい行事を計画しています。心に響く体験を積み重ね、豊かな感性を養います。その行事の一つ一つの中で、何を経験させるのか、何を育てるのかなど、教育的意義をもって指導にあたっていきます。



外部講師との出会い



目的に向かって取り組む



わくわくする遠足



○家庭との連携を重視しています。

お子さんの成長を一緒に感じながら、子育てについての悩みを聞いたり、解決策を一緒に考えたりなど、ご家庭と園とのコミュニケーションをしっかり構築しています。また、参加型の行事や保育参観などをとおし、一緒に子育てを楽しんでいきたいと思えます。

幼児の望ましい成長発達を促すためには、家庭や地域社会との連携が重要です。保護者や地域の方々とともに、協力しながら幼稚園教育を進めていきます。



保育参観



親子七夕まつり



なかよし会

○小学校との連携

併設小学校との交流を盛んに行っています。学校行事に参加したり、授業を見学に行ったり、校庭や体育館、図書室に遊びに行ったりと、いろいろな交流をする中で、連携を進めています。そうした経験を通して、子供たちは小学校がどんなところであるのかイメージでき、就学への不安も少なくなっています。



小学生との交流



授業体験



施設利用

